

すず イカゴの清水

大石田町大字駒籠

～平成28年度選定～



湧水は、杉林の奥から伸び細い水路を通り、水の帯となって水受けに流れ落ちている。北西に広がる低い山と丘陵の伏流水と考えられる。季節によって湧出量は変化するが、枯れたことはないという。



里の名水・やまがた百選



〔管理者〕 駒籠地区 〔保全団体〕 駒籠地区会

歴史や利活用

この水の記録はないが、付近は縄文から中世までの遺跡として、竪穴住居や駒籠楯跡が発掘されている。この湧水の名前の由来は、周囲が琵琶湖の伊香具（いかご）の景色に似ていたからという説もある。

この湧水は大石田町の名勝（登録文化財）に指定されている。この水を使ったお茶やコーヒーは美味しいとの声もある。



アクセス

(北緯 38.627389°, 東経 140.347583°)

北大石田駅を西に向かい、県道 305 号線との交差点を左折し、南進する。亀井田郵便局の先を右折し、県道 123 号線を 2km ほど西進し、大目橋を渡った所に「いかごの清水」の標識がある。右に入り 100m ほど先を左折し、数 10m 進んだ右側ある。

近くの見どころ

- <やまがた百名山 > ◆ 大高根山
- <日本一の滝王国山形 > ◆ ー
- <やまがた景観物語 > ◆ 大石田町虹ヶ丘公園から見渡す最上川

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

